

生涯学習やまがた



CONTENTS

- ② 特集
学びを支える職員～社会教育主事と公民館主事のこれから～
- ⑤ 事業報告
・歴史文化ゾーンを巡る2016
・日本庭園を学ぶ講座
- ⑥ 生涯学習実践者インタビュー⑦
よねざわ昆虫館 島貫清美さん
- ⑦ 地域の取り組みを紹介します
ひがしねあそびあランド・Oh!蔵SPORT事務局・川西町立図書館
- ⑧ information
洗心庵写真コンテスト作品展示・遊学館ブックス最新刊発売

山形県立博物館教育資料館 歴史文化ゾーンを巡る③

建物は明治34年建築の旧山形師範学校本館で、明治後期ルネサンス様式の木造葺瓦葺き二階建てである。昭和48年に国の重要文化財に指定され、昭和55年に教育資料館として開館した。江戸時代から現代に至るまで、山形県の教育に関するあゆみを知ることができる展示となっている。山形師範学校は、明治新政府が県立師範学校の設置を奨励したため、明治11年に初代県令三島通庸が創設したもので、明治大正昭和にわたり多くの教育者を育成した。

特集 学びを支える職員

社会教育主事と 公民館主事のこれから

地域住民の学びを日々地道に支えている社会教育主事や公民館主事。社会教育主事は大正時代から90年、公民館主事は戦後の公民館誕生から70年にわたり、人づくり・地域づくりに奔走してきました。

今回の特集では、それぞれに求められる役割や資質等について、改めて考えるべく、**原義彦氏×峰田順一氏×道上惟史氏**に語っていただきました。

制度と体制と

原…社会教育主事の職務は、社会教育法第九条の三に「社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える。」とあります。平成20年の法改正で学校の求めに応じて必要な助言を行うことができるという項も加りました。これは学校と地域の連携協働を背景に、社会教育としても学校に目をむける流れがあるためです。一方で、同法では公民館主事の職務については具体的に示していません。

それから、社会教育調査によると、全国の社会教育主事の配置数は、平成2年頃がピークで約7千人ですが平成27年には2千人をわずかに超えるよう

な状況で、3分の1に減っています。派遣社会教育主事の在庫負担制度廃止や市町村合併ほか様々な理由があると思いますが、社会教育主事に対する各自治体の位置づけや期待が下がってきていることも想像されます。公民館数も、ピーク時には約1万8千館以上でしたが、平成27年には1万4千館を切りました。公民館の職員数も、ピーク時には5万5千人近く（半数が非常勤職員等）でしたが、平成27年には4万5千人を切つて（6割以上が非常勤職員等・3割が公民館主事）いるようです。こういった全国的な状況ですが、実情はどうでしょうか？

道上…寒河江市では、現在は社会教育主事は1名ですが、3年前は3名、昨

年は2名でした。定期的に主事講習は受講しており、偶然減つたということかと思えます。市内の4つの地区公民館は、それぞれ行政職員1名と3名と非常勤館長が勤務する体制で、今は社会教育主事有資格者はおりません。私の東部地区公民館は館長1名職員3名ですが、配属当時ほかの職員2名が社会教育主事有資格者だったので、先輩方に事業運営上のいろいろな視点や工夫を学ばせてもらいました。

峰田…山辺町では、以前は社会教育主事も派遣社会教育主事もいて事業も充実していました。主事講習も社会教育担当者が代わつた際に受講できていました。派遣社会教育主事は学校の先生ですから、学校と一緒に事業を進める時にも非常に大きな力となりました。現在は、教育委員会事務局に私と学校関係担当の計2名の社会教育主事がいますが、講習受講も町の財政面や職員体制的に厳しくて出せません。現場は地域の課題から何からたくさん抱えて何でも屋のような状況で、余裕もなくとにかくぎりぎりです。公民館も、町直轄の公民館には町職員、分館には臨時職員が入り、一部の館は公民館運営協議会への委託で協議会へ事務長をお願いするような状況に変わってきています。

鼎談者プロフィール

原義彦氏

[はら よしひこ]

昭和41年生まれ
秋田大学大学院教育学研究科教授

専門は社会教育学、生涯学習学。公民館の経営診断等にも詳しく、これまでに文部科学省の生涯学習調査官、中央教育審議会生涯学習分科会委員等も務める。

峰田 順一 氏

[みねた じゅんいち]

昭和31年生まれ
山辺町教育委員会教育課課長（社会教育主事）

平成2年度から9年度まで、教育課社会教育主事。「やまのべ・みんなのセミナー-Taiken堂」等を手掛ける。平成27年度より山辺町教育委員会教育課課長兼中央公民館館長

道上 惟史 氏

[みちがみ よしひみ]

昭和60年生まれ
寒河江市東部地区公民館主事

平成26年度から寒河江市東部地区公民館主事。平成28年度に社会教育主事講習修了。



左から峰田氏 原氏 道上氏

期待と実際と

原…寒河江市では、偶然減った面もあるようですが社会教育主事の育成や配置が前提になっている。山辺町では育成・養成する余裕がない中でもなんとか維持している。学校関係担当に1名いるということは、学校と社会教育の連携に期待があるのかもしれませんが。一方で年度内にも学校教育法施行規則が改正され、学校にも地域連携担当教職員（仮称）が義務付けられるようです。学校にも地域に目を向ける教員が役割としてできることで、社会教育と学校教育が繋がる体制を整えようとしているんですね。

原…「生涯学習施策に関する調査研究」（平成22年度文部科学省委託事業）という調査研究で、社会教育主事や公民館主事が考える職務の重要度、それぞれに対する教育委員会の期待等をまとめたものがあります。それによると、社会教育主事に教育委員会が期待する職務は「地域の社会教育計画を立案する」や「学習計画や学習内容を立案・編成する」が高い一方で、社会教育主事が考える重要度は「地域の学習課題やニーズを把握する」「学校教育と社会教育の連携を推進する」「地域の教育資源や人材の把握を行う」で、計画立案にあまり重要度を感じていないようです。社会教育法第一七条では社会教育委員が社会教育計画を立案するとありますが、このあたりはどうなのでしょうか。

峰田…山辺町では、きちんとした社会教育計画とまではいきませんが、社会教育委員の意見を反映させながら年度毎に計画目標を作成しています。教育委員会としては、計画立案を求めるところですが、現場では、世の中の激しい動きの中で町民のニーズ把握が必要ですし、人材を把握して繋げるコーディネーター的な役割が重要だと考えているん

じゃないでしょうか。

原…そうですね、本来なら計画があつて連携を推進する、人材を把握するんじゃないけれど、現実的には社会教育主事は職務が多岐で大変な役職ですよね。さらに公民館だけでなく図書館・博物館も含めて社会教育施設なので、社会教育主事は個々の細部は別として全体を見なければいけない。公民館なら主事に、図書館なら司書に、博物館なら学芸員に指導助言できるのが社会教育主事で、新たに学校にも目を向ける必要があると言われている。実際はとにかく事業をやらざるを得ない状況ですが、これからの社会教育主事は、そういったことができる時間、環境をつくる、そういった力をつける必要があると思います。矛盾するようですが、幅広くと専門性とが社会教育主事のオリジナルなのかもしれません。そう考えると、先ほど教育委員会が社会教育主事に社会教育計画の立案を期待することはあながち間違つてはいない、これをするのは社会教育主事しかないということでしょうね。

次に、公民館主事に教育委員会が期待する職務は「地域の学習課題やニーズを把握する」「学習計画や学習内容を立案・編成する」。一方で、公民館主事が考える重要度は「地域の学習課題

やニーズを把握する」「社会教育施設を運営する」「地域の教育資源や人材の把握を行う」です。施設運営が高いのは、やはり館長プラス公民館主事1名といった環境があるからでしょうね。

道上…公民館主事も社会教育主事も、ニーズ把握や人材把握等が重要度として高いですが、そこはやはり役割としてもかぶるのだと思います。公民館では講座等の事業がメインですが、社会教育主事的な視点や関心、協働等の意識が必要で。以前は、婦人会や青年団等の団体活動も活発で自主性ももっていましたが、最近は団体がどんどん少なくなつていまして、今ある団体も支えないと存続が厳しい状況です。でも、そこで手を切ると地域の基盤がなくなってしまうのかなと思います。皆さんにいかに公民館に来ていただくか、来ていただいた人たちをいかに結びつけるかが課題です。

峰田…山辺町でも、ある公民館主事が、子どもたちと地域との関係が少なくなっていることを危惧して、「通学合宿」という事業を始め、一般家庭にもらい湯に行くなど様々な工夫をこらして、子どもたちが地域に関わる機会をつくつていく。その子どもたちが大きくなり、高校生ボランティアとして公民館活動に関わったり、卒業してまた地域の事業に

携わったり、良いサイクルが出てきているようです。社会教育主事も公民館主事も地域のニーズや課題を把握して、どう事業に繋げていくかは同じですね。

原…社会教育主事と公民館主事とが行うべきニーズ把握はそれぞれ違うところもあるのですが、ニーズ把握ができるというふうまわって行くのだと思います。そして、地域の課題を学習に結びつけ、地域に学習成果を戻していくこと、ニーズや学習課題の把握、地域課題の把握等の地域診断のようなことは社会教育に関わる職員でないとできないかもしれないですね。そこが原点でそこをもう少し洗練させていくと計画も見えてくるのではないのでしょうか。



職員の間から

原…社会教育主事は全体を見渡して指

導・助言・支援をしていく、公民館主事は地域の状況を汲み取りながら対住民サービスの中で社会教育を実行していく。社会教育主事の視点を具現化していくのが公民館主事かと思いますが、文部科学省でその社会教育主事の養成内容を見直す動きがあります。その中では、社会教育は人づくりだけでなく地域づくりにも軸足があるということ、自立した市民を育てるための様々な学習支援や地域の課題解決等の支援が求められています。また社会の要請を踏まえ学校と地域が連携・協働して行う活動や地域人材コーディネーター育成を推進するための能力、コーディネーターやファシリテーション、プレゼンテーションといった能力が必要だとされています。お二人は、これからの職員に求められる役割や資質をどうお考えですか。

峰田…社会教育に携わる職員は人づくりに尽力する存在。業務に関わらず、いろいろなところに自分の足で行って感じたり学んだりして自分を高めていかなないと、地域の人を引っ張っていかない。地域の人材を活かし、情熱を持って、いかに創意工夫を重ねて取り組むかによって、社会教育の広がりや可能性がでてくるんじゃないでしょうか。

道上…今、地方創生といった話もあり

ますが、やはり基盤は人なので人づくりが大事。新しい学びや学習環境などの支援、それからやはり連携や協働が増々必要になってくると思います。事業でも規模が大きくなると職員だけではできないので、ボランティアスタッフを取り入れたり、中学生や高校生をあちこち結び付けたり、地域に出て行ったり、そういったことが大事だと思います。相互教育でそれぞれが学び合うことが地域の向上にも繋がると思います。社会教育や生涯学習は人を豊かにするという視点で、限られた職員数の中でもアイデアを出し合って、より良いものをつくっていかれると思います。

原…各職員が積極的に新しいアイデアを出せる雰囲気があると変わりますよね。やってみないとわからないことも多いので失敗を恐れず取り組むといいですね。そしてこれからは、地域を動かすにはチームでやった方がいい。チームといっても職員は少ないので、地域団体とうまく協働体制をつくる。チーム公民館じゃないですが、地域との目に見えない関係をつくって、そういった方々の協力を得ながら地域づくりをする。その前段にそういった団体や人をつくる。例えば、公民館の利用団体は貸館だけの繋がりでもいいんですが、公民館としてはもう少し深い関係をつくる。「命令監督」

はしてはいませんが「指導助言」をうまく解釈して団体活動に良い形で関わってけると、公民館が困って「協力して」といった時に気軽に返事してもらえらる。時間はかかりますが、そういう意識をもった方がいい。

それから、地域の課題はすぐには変わりませんが、人のニーズや気持ちは変わったりしやすい面も持ち合わせています。日々、変わりやすい人々のニーズを追いかけるだけではなく、逆転の発想で、人々のニーズを先取りする視点でニーズをつくり出すことも必要かもしれません。山形県生涯学習センターでは「山形学」を推進されていますが、社会教育では25年くらい前からこれからの時代に地域学が重要だと言いつつ盛んになった。自然発生ではなくタネを撒いてきたんです。そんな発想もこれからさらに必要かもしれません。

いずれにせよ、社会教育の大きな柱は人材育成と地域形成。地域づくりを前提にした人づくりの視点をもって生涯学習・社会教育に取り組んでいっていただきたいですね。

―地域住民の学びを支える職員の役割の重さを改めて感じるとともに、現場の課題を乗り越える様々なアイデアをいただいたように思います。本日はありがとうございました。―

事業報告

歴史文化ゾーンを巡る2016

11月3日の文化の日を皮切りに11月27日まで、「教育の礎 山形師範学校の魅力を探る」といったテーマで4施設（文翔館・遊学館・洗心庵・教育資料館）連携事業がスタートした。歴史文化ゾーンは山形市内の4施設が集まるエリアでこのエリアの学びを掘り起こすため、昨年度より事業等に取り組んでおり、今年は2年目である。

11月19日に開催した講演会は、「旧山形師範学校」をメインにした企画。現在の正式名称は、山形県立博物館教育資料館。国指定の重要文化財になっており明治の初期に建築され、その後移転などの経過を経ながら守り続けられてきたルネサンス様式を基調とした洒落た建物である。これまで多くの教育者を輩出し、山形の教育の礎を築いてきた。この建物を歴史、人物そして建築から紐解く形で開催された。講師は、教育資料館とは馴染みが深く第一人者として活躍している尾形與典氏おがたものりである。

第1部は歴史と人物の視点で70年の歩みを振り返った講演で、特に設立者の三島通庸、そしてその長男であり師範学校の生徒でもある三島弥太郎親子の足跡を追



いながら詳しい説明がなされた。

第2部は建築の魅力として建物を見学

しながら説明の予定であったが、当日はあいにくの雨模様で、40名を超す参加者は、引き続き座学での聴講



となった。建物の特徴であるルネサンス様式のドームやアーチを取り入れた屋根や窓など詳しい説明がなされた。しかし、終了後、任意での建物見学は大勢の方が足を運んでくれたのは幸いであった。

古地図を持って街歩き「三島通りを歩く」

講演会に先立ち、講師に阿子島功氏を迎え、明治期の地図や写真を確認めながら、初代山形県令三島通庸やイザベラバードが見た風景を訪ねるというフィールドワークが11月12日に実施された。普段気づかない坂道や通りの屈曲など、何気なく見てきた町並みは学びの宝庫！日常に新たな視点加わりました。



文翔館北側にて八ヶ郷壇の跡を見学

日本庭園を学ぶ講座

洗心庵では、初めての企画となる庭園の歴史に焦点を当てた講座が全2回で開催された。洗心庵は庭園と調和した文化学習施設で多くの方が庭園鑑賞を楽しんでいる。講師は日本造園学会山形支部幹事の志村高秀氏。飛鳥時代から現代までの代表的な庭園を取り上げ、歴史を紐解くことで大陸との交流によりもたらされた庭園が、各時代に仏教や茶の湯など様々な文化から影響を受け、枯山水庭園や露地庭など日本独自の多様な庭園文化を形成していったことを学んだ。参加者数は11月5日が42名、12月3日が35名と好評のうち終了した。

日本庭園は長い歴史の中で社会情勢や文化、宗教などのかかわりの中から生まれ、研鑽されてきた日本文化である。その庭園文化を理解する上でどのような歴史背景の中で生まれ、どのように発展したかについて知ることはとても大切なことであると感じた。



生涯学習実践者インタビュー⑦

よねざわ昆虫館 専門員 島貫清美氏

地域の様々な分野で活躍する方に光をあて、その活躍を支える「学び」のあり方を探ります。今回は、もともと得意なスキルを生かし、さらに知識を深め、自由なアイデアで昆虫の魅力をわかりやすく伝えていく島貫清美さんにお話を伺います。

Q よねざわ昆虫館ってどんなところ？

よねざわ昆虫館は米沢市教育委員会が持つ約10万点の昆虫標本「山谷コレクション」を収蔵し、管理・保管・展示を行っている東北唯一の公設の昆虫館で、毎年約2万人の利用者があります。「ホタルの里」で名高い小野川温泉を有する米沢市三沢地区のコミュニティセンターに併設しております。昆虫とのふれあいを通じ、人と自然のかかわりや生命の営みの大切さを学ぶ機会を提供するために設置されました。利用者の問い合わせに応じ、種の同定や調査、研究の指導をするレファレンス業務、オリジナルグッズの開発と制作・販売も行っています。

Q ご自身を大きく変えた学びとは？

利用者として子どもたちと参加した

観察会で、たくさんの感動や不思議な体験して自然の面白さに気づき、学ぶ楽しさを知りました。興味を持つと不思議なもので今まで視界には入っていても意識しなかったものが、次々と意識に飛び込んできて驚きと感動・情報を得て「知る+楽しい=学ぶ」に変化したように思います。その後、農地整備の環境調査で様々な種の昆虫・植物・魚類に触れ、専門家の指導を仰ぎながら、昆虫だけでなく環境全体を学んだことが、現在の私につながっていると思います。



人気の昆虫学校 写真右が島貫さん

Q 印象に残っている出来事は？

普及活動の観察会や、レファレンスで指導した子どもたちが夏休みの自由研究の取り組みを報告に来てくれること、親子で昆虫採集や飼育に取り組みきっかけとなったなどの報告を受けることが特に印象に残っています。「野外に出て活動する楽しさを伝える」ことを目標としているので、それが叶っていると感じられる幸せな瞬間です。また、プロ・アマ問わず様々な分野の専門家の方々とつながりを持てたことが大きな財産となっています。

Q どんなことを伝えていきたいですか？

今ある環境は不変ではありません。近い将来なくなってしまう可能性が高く、次代を担う世代に残し継続するための意識付けが必要と考えます。そのためには「野外に出て活動することの楽しさ」はもちろん、「昆虫をきっかけとして多方面への興味を広げる」「知ることから始まる可能性」を伝えたいと考えています。例えば昆虫の生息と環境問題、人との関わり、生物多様性、芸術、産業、テクノロジーなどなど昆虫を知ることで見えてくるものがたくさんあるので、「広い視野を持つことが必要」

よねざわ昆虫館

外国・国産合わせて200種約3000頭の昆虫標本を常設展示。昆虫生態の映像コーナーや生体の展示もあり、生きている姿を見ることができます。調べ学習への活用や親子で楽しめる体験コーナーも充実しています。

住所 米沢市築沢 1776-1
三沢コミュニティセンター内
開館時間 9時～17時(最終入館 16:30)
休館日 水曜日、年末年始(12/29-1/3)
入館料 無料 TEL 0238-32-2005
URL <http://samidare.jp/koncyu/>



工作が得意な島貫さんが折り紙で作った昆虫と花のリース

と伝える事が大切だと感じています。今後の夢は学校や自治体、企業、研究機関などと連携して環境について考える活動です。多くの皆さんに親しまれる昆虫館として楽しみながら環境について学べる機会を提供できたらと思っています。

このまちに
注目!

地域の取り組みを紹介します

東根市

ひがしねあそびあランド 地域協働推進事業

『いっしょにあそぶべーじいちゃんばあちゃん』

■ 内容 ■

子どもを取り巻く環境は変化し、遊ぶ時間・空間・仲間が喪失しています。忙しく過ごす子ども達の心は渴いているのです。自分のペースで豊かな子ども時代を過ごした子は、心が満たされていきます。あそびあランドは、子どもが自由に好きな遊びに取り組める環境づくりの二環として、昔遊びを通して世代間交流活動を年3回、実施しています。遊び場づくりは地域づくりをモットーに、地域コミュニティの再生を目指しています。

■ ここが大変 ■

高齢者もつ技能を習得する為に何度か活動していますが、なかなか習得できない遊びが多いので、今後も農繁期を避け、世代間交流の機会をつくっていきます。

■ ここがうまくいった ■

高齢者が、本気で釘刺しやペーゴマ、ゴム跳びや竹遊びをすることで、遊びの面白みが増すことと、遊びを通じて童心に返り、元気の源につながっています。お家の人も子ども達も高齢者の丁寧な指導、温かい眼差しの中のびのびと遊んでいます。

知らない昔遊びを教えてください、とても楽しかったです。この楽しさを他の人にも知ってもらいたいです。昔遊びは頭も使っていて、昔の人たちはすごいと感激しました。

参加者
Voice



大蔵村

Oh! SPORTの代表的なイベント

『春を掘り出せ地面出し競争 World Cup in 肘折』

■ 内容 ■

地面出し競争は、旧肘折小中学校の雪上運動会で28年間継承されてきた競技の一つ。閉校後も無くしたくないという地元青年団の想いから冬のイベントとして今も受け継がれています。ルールは4mのフィールド内に4人までの選手が入っていかに早く雪を掘り、地面を出せるかを競います。単純ですが、やってみると奥が深い競技です。他にも前夜祭やソリンピックなど、わくわくするようなことが盛り沢山です。年々参加チームも増えています。

■ ここが大変 ■

県外からの参加者もあり、不慣れなスノーダンプ等の用具を使用し、豪雪地肘折の雪を制限時間内で掘り出せるか心配でしたが、これまで全チームがひと足早い肘折の春を出してくれています。

■ ここがうまくいった ■

掘り方のレクチャーや地元の方と交流できる前夜祭を開催したことで、旅館へ宿泊のリピーターも増加し、地域振興につながっています。

慣れていないので掘るのは大変でしたが、大人になってからこんなに夢中になって勝負することはなかったのでも楽しかったです。今度はシード権目指してチャレンジします。

参加者
Voice



川西町

演るほう、聞くほう、双方が楽しい

『夜の図書館』

■ 内容 ■

「図書館で何か面白いことをやりたい」という利用者の声を受け、昨年9月から開始。閉館後に本を活用した講座プラス普段はご法度の飲食、おしゃべり、楽器演奏など発表したい方の自由なスタイルで開催しています。1回目は大人のためのおはなし会として「愛染かつら」の紙芝居や絵本の読み聞かせを、2回目は山田風太郎著「人間臨終図巻」より「あんな生き方こんな死に方」と題して大人のブックトークを開催し、ハモニカ演奏もあり、濃くて楽しいひとときになりました。今後も奇数月の開催ですが、冬期間は土曜の午後には昼バージョンとして開催します。

■ ここが大変 ■

これまで図書館の利用が無かった人にも来ていただく機会になればと始めましたので、広く知っていただくための広報の仕方や口コミも重要な運営の一つと捉えています。

■ ここがうまくいった ■

講座時間の使い方を全て演る方にお任せするため、その方の人となりも見えて面白さが増します。次回講座の出演希望もいただいています。

男性のブックトークが良かった。このような機会がなければ手に取らなかった本に出会わせてくださったことに感謝!!

参加者
Voice



洗心庵写真コンテスト入賞作品展示

表彰式にあわせて作品を展示します。たくさんの応募作品の中から今年度の入賞作品19作品(一般の部13点、高校生の部6点)が決定しました。どの作品も洗心庵の美しい瞬間を切り取った秀作ばかりです。是非この機会にご覧ください。

とき：平成29年3月18日(土)～4月4日(火) 場所：洗心庵 多目的ホール
※3月19日、20日、27日、4月3日は休館日

時間：9時から17時まで
※3月18日は表彰式のため13時から、4月4日は15時まで

抹茶のもてなし

一般向け

写真コンテスト入賞作品展示期間中に行います。作品を鑑賞しながら、抹茶を楽しんでいただけます。

とき：3月26日(日) 場所：洗心庵多目的ホール
菓子代：200円 先着35名様

ホームページやパンフレットで紹介されていない遊学館内の美術品をご紹介します。

美術工芸品紹介③ 庄内の人(遊学館3階)



きくちともいち
菊地友一(1912-1993)
大江町左沢生まれ。
絵のモデルは昭和初期のはんこたんを被った農婦で、一人を違う格好で描いた作品。丸い月のようなものは作者の絵の特徴で、4枚の屏風状になっています。

編集後記

遊学館ブックスの最新刊PRでラジオ局に伺ったとき、当たり前ですがラジオでは見えないのでリスナーに伝わるよう具体的に話すことを教わりました。普段使っている言葉や会話を見直して、人に伝える意識を持ちたいですね。今年度も広報紙を読んでいただきありがとうございます。ひとつでも読者の方の心に残る記事に出会っていただければ幸いです。(Y)

遊学館ブックス最新刊発売!

時をつむぐ若者たち ～ともに創る山形の未来～

平成27年度「山形学」フォーラム・講座の記録集。過去の山形の若者の歴史的活動を振り返るとともに、現在県内外で活躍している若者たちから熱いメッセージを贈ります。「常識を疑ってみる」「多様性を認め合う」など、若者とともに山形の未来を創るためのヒントやさまざまな価値観にふれられる一冊です。

お買い求めは
八文字屋・戸田書店(山形店・三川店)・宮脇書店(天童店・清水屋店)・山形大学生活協同組合・おいしい山形プラザ(東京都)・Amazon

または山形県生涯学習センター(遊学館3階)、文翔館、洗心庵まで

定価1,080円 B6版 388頁▶



編集発行 (公財)山形県生涯学習文化財団 平成29年2月発行

山形県生涯学習センター 〒990-0041 山形市緑町1-2-36[遊学館]
TEL 023-625-6411 FAX 023-625-6415 E-mail yama@gakushubunka.jp
URL <http://www.gakushubunka.jp/yugakukan/>

■開館時間 9:00～21:00[夜間利用が無い場合は19:00まで]

■休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始

洗心庵 [山形県生涯学習センター分館] 〒990-0041 山形市緑町1-4-28
TEL 023-664-2800 FAX 023-664-2816

■開館時間 9:00～21:00[夜間利用が無い場合は17:00(3月末)まで]

■休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始